

会 議 録

会議の名称		第1回 川島町環境保全審議会並びに川島町廃棄物減量等推進審議会会議録
開催日時		令和5年9月28日(木)午後2時00分から3時38分まで
開催場所		川島町役場 2階 大会議室
議 事		(1) 川島町環境総合計画(環境基本計画・一般廃棄物処理基本計画)の概要について (2) 川島町地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)について (3) その他
公開・非公開の別		公開(傍聴者なし)
出席者	委 員	森山 辰美・野村 尚男・片山 博文・堀田 泰弘・後藤 真太郎・鈴木 貞美・小ノ澤 忠義・菊池 建太 鈴木 健・飯島 久美子・瀬間 さやか・佐藤 菊枝 鈴木 克久 計13名
	事務局職員	町民生活課 課長 伊原 同 生活環境グループ 主幹 阿泉・主査 山木 同 ごみ処理施設整備推進室 主幹 岡部 主査 北原 同 施設管理グループ 主幹 横山
配 付 資 料		<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・川島町桶川市ごみ処理広域化協議会について(報告事項) ・環境基本計画の概要について(資料1-1) ・「川島町環境基本計画」の基づく令和5年度施策の進捗状況について(資料1-2) ・環境基本計画における令和5年度の主な取り組みに対する進捗状況について(資料1-3) ・清掃事業概要(令和4年度実績)(資料1-4) ・川島町地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)(資料2-1) ・二酸化炭素排出量 集計及び比較(資料2-2) ・対象施設一覧表(資料2-3)
<p>審議会の内容・概要</p> <p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 報告事項 川島町桶川市ごみ処理広域化協議会について</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 川島町環境総合計画(環境基本計画・一般廃棄物処理基本計画)の概要について</p> <p>事務局より、川島町環境基本計画の概要(資料1-1)、令和5年度の進捗状況(資料1-2、資料1-3)および一般廃棄物処理基本計画にもとづく清掃事業概要(資料1-4)について説明。</p> <p>《意見及び質疑応答》</p>		

委員 生ごみ処理機の補助金はもう少し早く用意してほしかった。生ごみが多くて困っていた。給食センターの取り組みもよいと思われる。

資源回収とごみゼロ運動を同日にできないか。作業するので、併せてもらえると助かる。

委員 資料からは企業や町民が頑張った結果やプラスチックの有料化などニーズが変化したことが数値化されていることしか読み取れない。もうひとひねりを提案できる資料のほうがよい。

事務局 環境センターに入ってきたゴミの統計となってしまうため、その前に取り組んでいることが反映した資料にはなっていないので、もう少しわかりやすい資料にしたいと思う。生ごみ処理機が普及すれば環境センターに入ってくる量も減ってくると考えているので、利用状況を注視していきたい。

委員 たい肥化に需要があるのか。使い道がなければ、取り組みの効果が薄いと思われる。最終的な目的を決めたほうがよい。

事務局 実際に生ごみ処理機を使用すると、かなり水分が抜け、重量が減るので、減量化につながると考えている。たい肥の使用先についても検討していきたい。

委員 町内で竹が枯れ始めている。町で把握しているのか。注意喚起も行ってほしい。

事務局 町には何が原因で枯れているといった情報が来ていない。把握するように努めていく。

委員 近くの会社でアライグマの捕獲機を設置していたが、アライグマの被害はどのくらいあるのか。

事務局 農作物の被害はかなり出ており、被害を抑えるためには捕獲しかないと考えている。現在、161頭が捕獲されており、暑い時期はつかまりづらいが、これからの時期は捕獲されるようになり、昨年度と同様に400頭を超えると予測している。

委員 目標に対する評価方法が適当でないものが見受けられる。不十分という課題が出たのに達成したという評価になるのは少し違うと思う。予算のからみもあると思うが改善できるならしたほうがよい。

事務局 現状目標に対して取り組んだかという実績の点で評価しているので、適当でない目標も存在している。本来目標設定のあり方は、頑張れば達成できるような目標設定が望ましいと考えている。予算が伴うため、難しい部分もあるが、他の目標値も含めて調整していきたい。

【議事1について承認】

(2) 川島町地球温暖化対策実行計画（事務・事業編）について

事務局より、川島町地球温暖化対策実行計画（事務・事業編）の内容について（資料2-1）および取組状況について（資料2-2）（資料2-3）をつかって説明

《意見及び質疑応答》

委員 CO2はエネルギーになる。そういった斬新な考え方を持つ子供

があるので、教育面にも力を入れることで、温暖化対策につながるのではないかと。

事務局 参考事例について、調査し参考にしていきたい。
委員 意見になるが、令和4年度で伸び率が緩やかに変化した理由として、コロナ感染症が落ち着き、公共施設の稼働率が上がったことで電気使用量が増えたためとのことだが、口頭による説明だけでなく目標達成ができなかった理由がわかるようにしてもらいたい。

委員 学校施設は空調の設置数が増えたから増加しましたという説明では、減らすためには使うなという風に聞こえるので、気候変動に考慮した内容にしたほうが良いのでは。

事務局 現状、空調の利用を減らして削減をお願いすることは体調を崩す恐れがあるのでそこは求めずに、LED照明に切り替えて増加分を賄っていくという更新計画としていきたいと考えている。

委員 上下水道施設は、LED化させないで、蛍光灯のままでよいという考え方なのか。

事務局 上下水道施設は現在無人施設であり、照明をほとんど使っていない施設のため、LED化による削減量は少ないと考えている。機械による消費量が多いため、そちらの更新をしていくか、太陽光発電を設置して使用料から相殺する方法も検討できるか考えている。

委員 LED化への導入にたいして、無人施設はやらないなど、本気度が見えない。弊社の工場は100%LED化されているが、それはトップの指示により達成できている。進めるにはトップダウンで行う必要があるし期限を定めて行う必要がある。

事務局 今までの計画が職員努力による取り組みがメインであったため、施設更新による削減目標を立てられなかった。一体となって進められるよう、更新計画を町民生活課で道筋を立てて、各課で予算要求してもらえようように段取りを作るよう調整していく。

【議事2について承認】

5 その他

事務局より、出席に伴う報酬の額と振込時期について説明
次回会議について、令和6年3月21日に実施する旨伝達。

6 閉会

署 名	小澤 忠義
	堀田 泰弘